

第1時

目標

準備物

町にある施設や建物の言い方について理解することができる。

①指導者用・学習者用デジタル教科書 📁 ② 🧊 Word Book

- ③ 絵カード (施設・建物) ④ 学区の地図 (オンラインマップサービスなどを活用)
- ⑤ワークシート (Let's Play 1 ビンゴ・シート) ⑥振り返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
1分	1 挨拶をする。	○ 全体に挨拶をし,体調を問うなどする。
7分	2 単元の方向性を知る。 pp.60-61 のイラストを見て、どんな施設や 建物があるかなどについて指導者とやり取り し、施設や建物の言い方に触れる。	○ 本単元の場面や状況をつかむため、児童とのやり取りを通して教科書紙面の町のイラストにある様々な施設や建物の絵に、徐々に興味や関心を抱けるようにする。○ 絵カードを使ってやり取りをしながら、町にある主な施設や建物の言い方に出合わせるようにする。
	進め方の例 T: Open your textbook to page 60 and 6 What can you see on the map? C: ハンバーガー屋さん! T: A hamburger shop? Everyone, can you compare the compared by the c	ou find the hamburger shop?
1分	3 本時のめあてを知る。 施設や建物の言い方を知ろう。	○ 2 の活動で単元の場面や状況を示し、本時のめあてにつなげる。
7分	4 語句に触れる。 地域にあるお気に入りの施設や建物について の指導者の話を聞いたり、指導者とやり取り したりして、地域にある施設や建物の言い方 を知る。	○ 児童にとってより身近な話題となるように、学区の地図 (オンラインマップサービスなど)を利用し、2で触れた 施設の語句を使いながら、学区にある指導者のお気に入 りの施設、または学区にある施設(コンビニなど)をい くつ見つけることができるかなどを話す。
	swimming. Do you like sports? C: Yes!	写真など)What's this? our town. The gym is my favorite place. I like hospitals? How many hospitals can you see on this
3分	5 Let's Try 1 ペアになり、自分たちの地域にある施設や建物を地図で見つけながら、英語で言ってみる。	○ これまでの活動を活かし、学区の地図を見せて実際に言わせてみることで、児童が自分の課題などに気づく機会とする。○ 既習の語句を生かしながら、知らない語句の言い方を考えるように促す。
3分	6 語句を練習する。Word Book の pp.26-27 (建物など) の語句をペアや個々で言ってみる。難しいと感じた語句を全体で練習する。	○ デジタル教材を活用し、 Word Book に掲載されている建物などの名前を、主体的に聞いたり言ってみたりする。

本資料は,一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って, 令和6年度小学校教科書の内容解説資料として配布を許可された資料です。

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(■)
5分	7 Let's Play 1 ビンゴ・ゲームを通して施設や建物の言い方 や、We have ~. の表現を繰り返し聞く。	○ 出合った様々な施設や建物の名前を聞く活動として、ビンゴ・ゲームを行う。(ワークシートや絵カードなどを活用してもよい。) ○ 指導者は "We have (a park) in our town."の表現を用いて施設や建物の名前を児童に聞かせる。
3分	8 Let's Listen 1 登場人物のそばにある施設や建物の名前を聞き、聞こえた順番を書く。	○ 施設や建物の音声を聞き、位置を表す前置詞と出合わせる活動としてクイズ形式の活動を行う。○ 事前に、□のついている5つの施設について、英語の言い方を確認する。
	スクリプト Ben: Hi. I'm in the park. This park is Natsuki: Hi. I'm at the library. The library Mifuyu: Hi. I'm at the post office. The	ry is by the elementary school.
3分	9 Let's Watch and Think 1 デジタル教科書で、登場人物がゲームで作った町について伝え合っている動画を視聴する。 🎾	○ 8の活動を受けて、登場人物の会話を聞くことで本単元の目的や場面、状況を考えさせる。 ○ ペアで考えさせたりタブレット端末で個別に視聴させたりして、実態に合わせた活動を行うようにする。 ○ 動画は "Thank you." で一時停止させる。
	進め方の例(視聴前) T: Where are Ben, Natsuki, and Mifuyu? C: ベンが作った町! T: Really? Let's watch and listen careful	
4分	10 Follow Up 指導者とのやり取りを通して、Let's Watch and Think 1 の話の概要を理解する。	○ 既習の語句や表現を用いた児童とのやり取りを通して, 改めて話の内容や場面や状況を理解させる。
	進め方の例(視聴後) T: What did you hear? C: Bear! C: "Welcome to my town." も聞こえた。 T: Good job! Where are Ben, Natsuki, a C: ベンの町! T: Yes! This is Ben's town. Do you want	·
1分	11 本単元のめあてを知る。 マイタウンを作って案内しよう。	○ 10 でのやり取りに続けて、児童に本単元でやってみたい ことを問い、単元のめあてを設定する。
3分	12 Sounds and Letters アルファベットの小文字②	○ 文字の形の特徴に注意しながら動画を視聴し、小文字を読んだり書いたりさせる。
4分	13 振り返りを行う。・振り返りシートを書く。・指導者のコメントを聞き、次時への見通し や意欲をもつ。	○ 振り返りの観点を示す。○ 各自が成長や課題について考えられるようにする。



第2時

目標

ものの位置を表す表現について理解することができる。

- ①指導者用・学習者用デジタル教科書 🗾 ② 🧊 Word Book
- ③ 時計や本など身の回りのもの ④ 絵カード (施設・建物) ⑤ 振り返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(■)
1分	1 挨拶をする。	○ 全体に挨拶をし,体調を問うなどする。
10分	2 単元の方向性を知る。 pp.60-61 のイラストや教室にある身の回り のものなどについて指導者の話を聞いたり, 指導者とやり取りしたりして,ものの位置を 表す語(on, in, under, by)を知る。 ▶	 ○ 前時の活動を想起させるため、教科書紙面の町のイラストを再度見て施設や建物の言い方を想起させた後、様々なものがある場所について児童に尋ねたりやり取りしたりするなどして、本時の導入を図る。 ○ ベンの町から時計や本など身の回りのものに話題を移し、実際にものを見せたり動かしたりしながら、ものの位置を表す前置詞への理解を促す(絵カードなどを黒板に掲示する)。
	進め方の例 T: Where is the bear? C: 屋根の上。 T: Yes. It's on the roof. It's by the hamb C: Zoo. T: Great! The panda is in the zoo. What C: Elephant! Lion! T: Yes. You can see many animals there C: Park. T: Yes. Ben is in the park. C: 桜の木の下。 T: Great. Ben is under the cherry tree.	
1分	3 本時のめあてを知る。 ものの位置を表す言い方を知ろう。	○ 2 の活動から、本時のめあてにつなげる。
5分	4 Let's Listen 2 何がどこにあるのかを聞き取る。	 ○活動を始める前に、教科書紙面の町のイラストにある身の回りのものやそれがある場所について児童とやり取りし、活動の方法を確認した後、音声を聞かせる。 ○児童の活動状況を確認しながら、音声を1回ずつ止めて進めたり全て一度に聞かせたりするなど、児童の実態に合わせて行う。 ○選択肢が残り2つになったら、どちらにあるか予想させて答えを言わせるなど、児童とやり取りして意欲を喚起しながら進める。 ○実態によりタブレット端末を活用し、Let's Listen 2や Word Book[ものの名前など]について、音声を聞いて練習することも考えられる。
	スクリプト Ben: Where is my clock? Ben's father: It's on the desk. Ben: Where is my T-shirt?	Ben's father: It's in the basket. Ben: I see. Where is my school bag? Ben's father: It's under the chair.

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
5分	5	 ○ 始めは指導者が指示をする。慣れてきたら児童同士で活動を行うようにする。身の回りのものを実際に操作することで、表現の意味の理解が深まる。 ○ 置くものや置く場所などは児童のアイデアを取り入れるなど、児童の実態に応じた方法で活動を行い、意欲が継続するようにする。
5分	6 [□] � Chant ① "Where is your school bag?" を言う。	○ 次の言語活動につなげるために,表現に慣れ親しませる。
10分	 7 Let's Try 2 ・かばん、T シャツ、時計を置く場所を決めて、自分の部屋を完成させる。 ・ペアで物の位置を尋ねたり答えたりする。 	○ まずは自分の部屋を完成させ、その後、互いに尋ねたり答えたりする。相手が作った部屋を再現するというゲーム形式にすることで、尋ねたり答えたりする必然性が生まれる。 ○ 実態に合わせて活動方法を考え、表現を使いながら慣れさせるようにする。
	発話例 C1: Where is your clock? C2: It's on the desk.	
4分	8 [□] ∮ Song ② "On, In, Under, By" Song を歌う。	○ ジェスチャーをつけるなどして,楽しく表現に慣れ親し ませるようにする。
4分	9 振り返りを行う。・振り返りシートを書く。・指導者のコメントを聞き、次時への見通し や意欲をもつ。	○振り返りの観点を示す。○各自が成長や課題について考えられるようにする。



第3時

目標

町にある施設や建物、それがある場所について、尋ねたり答えたりする ことができる。

準備物

- ①指導者用・学習者用デジタル教科書 2 Word Book
- ③ワークシート(Activity 1「マイタウン・マップ」) ④絵カード(施設・建物)
- 5振り返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
1分	1 挨拶をする。	○ 全体に挨拶をし,体調を問うなどする。
4分	2 😛 Let's Play 3 地図記号で表された施設や建物を英語で言う。	○ 1, 2 の地図記号を提示し、"What's this?"と問いかけながら、それぞれの建物を英語で言う。英語の言い方がわからないときは、 Word Bookで調べるよう促す。
1分	3 本時のめあてを知る。建物やマイハウスの場所を伝え合おう。	○ 前時の自分の部屋の活動を想起させ,本時のめあてにつなげる。
14分	4 Activity 1 指導者のデモンストレーションを見る。	 ○本活動が言語活動を通した活動になるよう、デモンストレーションにおいて、児童とのやり取りを通して、活動の場面や状況を伝える。位置を表す表現を共有できるように『マイタウン・マップ』には、いくつかの記号を事前に載せておく。 ○事前に掲示用のマイタウン・マップ、絵カードを準備しておく。

進め方の例(掲示用マイタウン・マップを示しながら)

T: Look. I have a library in my town. I like reading books. The library is by the restaurant. I have a police station, too. Police officers are cool.

The police station is by the (school). (地図記号を指し示し、児童に"school"を言わせる)
This is my house. (事前に指導者の家を記入しておく。児童が見ている前で、家の隣に公園の絵カードを置く)

My house is (by the park). (公園の絵カードを指し示し、児童に"by the park"を言わせる) Please ask me, everyone. Where is your house?

- **C:** Where is your house?
- **T:** My house is (by the park).
- ・『マイタウン・マップ』に自分の家を記入し、 **絵カード**を選んでその隣に置く。
- ・ペアになり、家のある場所を尋ねたり答え たりする。

○ デモンストレーションを手掛かりにマップの空白のスペースに自分の家を記入させ、位置を伝えられるよう、その隣に、建物の**絵カード**を置くよう指示する。

聞き手の反応や表現の工夫の例

【聞き手の反応の例】

C1: My house is by the park.

C2: I see. / Your house is by the park. / That's nice.

【表現の工夫の例】

C: My house is by the park.

I play soccer in the park.

※そばにある施設や建物について自分の考えや気持ちなどを加える。

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
5分	5 PLet's Listen and Read 1 ・自分の家の場所を言う。 ・音声を聞く。 ・文を指で追いながら,文字を読む。	 ○ いきなり文字を読むのではなく、自分の家の場所を表す表現を再度声に出してから取り組ませる。 ○ 音声を聞かせて、教科書の文を言わせる。 ○ 上記のように十分に音声に慣れ親しませたうえで、文を指で追わせながら読ませる。板書や掲示などで全体に示し、文字を一緒に追って確認をしながら読むなど、丁寧に指導を行う。
13分	 6	○ "My house is by the" までは、Let's Listen and Read 1 の文を参考にさせる。建物については、 Word Bookを参考に丁寧に書き写させる。書き写した後、指でなぞり読みをして確認するなど正しく書くことができるように指導する。
3分	7 [■] § & Sounds and Letters アルファベットの小文字②	○ 文字の形の特徴に注意しながら動画を視聴し,小文字を読んだり書いたりさせる。
4分	8 振り返りを行う。・振り返りシートを書く。・指導者のコメントを聞き、次時への見通し や意欲をもつ。	○ 振り返りの観点を示す。 ○ 各自が成長や課題について考えられるようにする。



第4時

目標

相手のマイタウンにある施設や建物について, 道案内を聞いたり, 道順 を尋ねたり答えたりすることができる。

準備物

① 指導者用・学習者用デジタル教科書 2 秋の食べ物画像または絵カード (サンマ, 焼き芋など) ③ Word Book ④ワークシート (マイタウン・マップ) / 提示用のコマ (地図上で動かすコマ。左右が書かれている) ■ ⑤ 振り返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
1分	1 挨拶をする。	○ 全体に挨拶をし,体調を問うなどする。
10分	 Small Talk 好きな秋の食べ物について尋ね合う。 	○ What's your favorite ~? に対して, My favorite ~ is ○○. というやり取りの定着を図る。
	C: 焼き fish. T: 惜しいね。It's grilled fish. C: Gril ② 指導者が未習の語句を教えたり, Word T: What's this? C: 焼き芋。 T: 焼き芋 is baked sweet potatoes in E ③ 好きな秋の食べ物を尋ねたり答えたりして付 T: My favorite food is grilled fish. Wh	C: さんま! もわからないけれど、「焼き魚」なら言えるかな。 lled fish. Book で調べさせたりする。 English. 伝え合う。 at is your favorite food? favorite food is baked sweet potatoes.
5分	3 Let's Watch and Think 2 登場人物の話を聞いて具体的な情報や概要を聞き取り、教科書の空欄に記述する。	○ 全体を聞く中で、「ベンが案内した場所」「その場所についてわかったこと」について、児童が聞き取れた英語や概要の情報を共有し合い、道案内の場面をイメージできるようにする。
1分	4 本時のめあてを知る。 道案内をしたり、聞いたりしよう。	○ Let's Watch and Think 2 の場面から、本時のめあてに つなげる。
3分	5 Let's Listen 3 pp. 60 - 61 のマップを使って,音声の指示に	○ 音声を聞いて概要を捉え,最も当てはまる建物(library) を選択できるよう説明を加える。
	従う。 <mark>グ</mark>	□ 「聞くこと」 (知 [行動観察・記述内容]
	スクリプト Ben: Turn left. Go straight. Turn right. You can see it on your left.	Go straight for two blocks.
4分	6 ⇔ Let's Play 4 サイモン・セズ・ゲームをする。	○ 掲示用のコマ を動かしながら指示を出し、次の言語活動 につなげるための表現に慣れ親しませる。
	活動例 Simon says, "Turn right / left." (児童はリビ Go straight. (児童はリピートしながらその場	

児童の活動 指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□) 10分 7 🐧 Let's Try 3 道案内をし合う。 マイタウン・マップを使って、地図記号で表 された建物がある場所について、指導者の話 を聞いたり、指導者や友だちとやり取りをし たりしながら、道案内をし合う。 🗐 ○ 指導者が道案内の仕方をデモンストレーションしながら、 ▷ 指導者の道案内のデモンストレーション fire station をマップに記入させる。 を見て、fire station の場所をマップに 記入する。 進め方の例(ティーム・ティーチングの場合)(※指導者が単独の場合は2役する) **T1:** Excuse me. Where is the fire station? **T2**: Fire station? We are at the train station now. (マイタウン・マップの駅の位置にコマを置く) Are you ready? Go straight for two blocks. **T1:**OK. Go straight for two blocks. One.... Two.... (コマを動かしながら) **T2:** Turn right. **T1:** Turn right. (コマを動かしながら) T2: It's on your left. It's on the corner by the park. T1: It's on my left. It's on the corner by the park. OK. Thank you. (消防署の地図記号を記入する) T2: You're welcome. ○ 道案内が聞き取れなかったときには "Sorry?" や "One 〉指導者の道案内を聞いて、hospital の場 more time, please."のように確認をするなど、聞き手 所をマップに記入する。 の反応の仕方についても指導する。 ▷ ペアで、自分の家への道案内をし合う。 ○ 互いのマップを見せずに、相手を自分の家へ道案内させ ることで, 互いに未知の情報を尋ね合う必要性をもたせ る。家の場所を、前時で記入した場所から変えてもよい。 進め方の例 ※互いのマップが見えないように工夫する。 C1: Where is your house? C2: (We are at the train station now.) Are you ready? 中間指導の進め方の例 T: 道案内はできましたか。 **C**: 「右側の角にある」の言い方がわかりませんでした。 T: 言い表したいことを短く一つひとつ言ってみましょう。「右側です」は? **C:** It's on your right. T: That's right! 今度は「角にある」は? C: It's on the corner. T: Good job. 二つを続けて言えばいいね。言ってごらん。 **C:** It's on your right. It's on the corner. T: Great! ・再度、道案内をし合う。 7分 8 📆 Let's Try 3 ○ 適宜中間指導を入れ、より相手にわかりやすい伝え方をす る工夫(聞き手の反応の仕方,表現の工夫,態度など)の ペアを変えて、マイタウン・マップを使いな 確認をしたり、練習をしたりする。 がら、自分の家への道を案内し合う。 □ [話すこと [や]] 〔知 [行動観察] 4分 9 振り返りを行う。 ○ 振り返りの観点を示す。 ・振り返りシートを書く。 ○ 各自が成長や課題について考えられるようにする。 ・指導者のコメントを聞き, 次時への見通し や意欲をもつ。



第5時

目標

マイタウンのお気に入りの場所について、道順を尋ねたり答えたりすることができる。

- ①指導者用・学習者用デジタル教科書 📁 ② 🧻 Word Book
- ③ ワークシート (Let's Play 3 「マイタウン・マップ」)

 ④ 絵カード (施設・建物)
- ⑤ 振り返りシート

時間		指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(■)
1分	元重の元割 	日等省の冶動と指導工の自息点(〇)と計画(■) ○ 全体に挨拶をし,体調を問うなどする。
		C EMICINITIES, MINICES SO
2分	2 º∜ Chant ❷ "Where is the pizza shop?" を言う。	○ 道順の尋ね方や案内の仕方を想起させる。
5分	3 ⊕ Let's Play 5 指導者からの "Where am I?" クイズに答えたり、 友だちと問題を出し合ったりする。 🏂	 ○ 指導者が自分のマイタウン・マップや、教科書 pp.60-61のイラストを使って出題する。実態に応じ、出題者を児童にしてもよい。 ○ 活動を通して、施設や建物、そこでできることなどを表す表現に慣れさせる。 ○ 必要に応じて中間指導をする。ヒントの出し方などの課題を共有して、適切な指導や練習を行う。
	中間指導の進め方の例 (教科書を使用する場合) T: Look at this map. Please guess! Where C: どこだろう。学校かな。 T: I'll give you some hints. Listen carefully. Hint 1. I like traveling. / Hint 2. People Hint 3. I can enjoy watching cool trains t C: At the station! T: That's right. I'm at the	get on or get off a train there. / here. Where am I?
1分	4 本時のめあてを知る。 マイタウンのお気に入りの場所について、 道順を尋ねたり答えたりしよう。	○ 3の活動から本時のめあてにつなげ、意欲づけを図る。
6分	5 活動の方法を知る。指導者のお気に入りの場所についてやり取りし、活動の方法を知る。	○ 指導者がモデルを示して活動の方法を理解させるとともに, 活動への意欲づけを図る。
	進め方の例(指導者のマイタウン・マップを提示 T: Please ask me, "Where is your favorite pl C: (全員) Where is your favorite place? T: Can you guess my favorite place? C: School? ミュージックホールかなあ。 T: OK. Let's go to my favorite place. You are here. (駅などスタート地点を決める Are you ready? Go straight. Turn left at the first corner. Go straight. Turn right at the first corner.	ace?" C:OK. T: Go straight for one block. You can see it on your right. That is my favorite place. What's this place? C:School!
6分	6 活動に向けて準備をする。 マイタウンに加えたい施設などを置き、お気に入 りの場所を決め、道案内の仕方を考える。	○ 各自が作ったマップを使って活動を行う。概ね前時までに作成できていると思われるため、加える施設は 1,2 個とする。○ 必要に応じて、タブレット端末などで音声を確認したり練習したりする。○ 必要に応じて個別指導を行う。
5分	7 ② Activity 2 (1 回目) ・ペアでお気に入りの場所まで道案内をする。 ・活動を振り返る。	○ グループ内でペアを組み、尋ねたり答えたりさせる。○ 本時の目標達成に向けた中間指導を行う。

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(■)
	中間指導の進め方の例 (1回目のやり取り) T: Please stop talking. うまくお気に入りの場所について尋ねたり答りできましたか。 C1: 道案内の仕方がわからなくなりました。 C2: ○○さんの道案内は、わかりやすかったです T: Thank you for your sharing. お気に入りの場所について、もっとうまく尋り答えたりするためには、どうしましょうか C2: 練習したい。○○さんの案内を聞きたい。	り取りして、自分と比較してよい点を見つけさせるなどして自己調整を促す。 ・チャンツや 絵カード などを使って、言いにくい表現の練習を全体で行う。 ・タブレット端末などを使って個人で練習させる。
6分	8 ② Activity 2 (2 回目) 相手を変えてお気に入りの場所まで道案内をする。	○ 7 での中間指導を踏まえて、児童が自己調整を図ることができるように支援する。○ 適宜中間指導を入れ、必要に応じた指導を行う。
		■ [話すこと [やり取り]] <mark>知</mark> [行動観察・後日パフォーマンス テスト]
	(a と b) と児童の発話 ※下の会話例の C2 は案内役でも聞き役でも言いるむことなく、かつほぼ正しく表現を用いて話しるため (a) と判断した。(the については評価のとしない) ※ C1 は案内役としては、ほぼ正しく表現を用いてしているものの、聞き役としては、言いよどん表現に一部間違いが見られたりする。しかしコニケーションに支障がない範囲で道順を尋ねてため、(b) と判断した。 <c1 案内役="" 聞き役、c2=""> C1: Where … 何て言うんだっけ … Where (is y 抜け) … favorite place? C2: Let's go to my favorite place. Go straig Turn right at the first corner.</c1>	See it on your left. C1: OK. 公園? C2: That's right. My favorite place is (the 抜け) park. C1: Aphty, C2間き後> C2: Where is your favorite place? C1: Let's go to my favorite place. Go straight for two block (s 抜け). Turn right. C2: Go straight for two blocks. Turn right. OK. C1: Go straight. You can see it on your right. C2: on your (my の間違え) right. It's (the 抜け) museum. C1: That's right!
		○ 全体の活動を終えた後, (a) に近い学習状況の児童に全体の前でペアになってやり取りをさせる。他の児童の学習改善につなげる。○ (b) に満たないと判断した児童には、次時へ向けて継続的に指導を行う(評価規準・評価基準 p. 18 参照)。
2分	9 Plet's Listen and Read 2 ・自分のお気に入りの場所を言う。 ・音声を聞く。 ・文を指で追いながら,文字を読む。	 ○8の活動を踏まえ、お気に入りの場所を再度声に出してから取り組ませる。 ○音声を聞かせて、教科書の文を言わせる。 ○十分に音声に慣れ親しませたうえで、文を指で追わせながら読ませる。板書や掲示などを使い、文を一緒に追って確認をしながら読むなど、丁寧に指導を行う。
4分	 10	○ お気に入りの場所は、 Word Book を手本に丁寧に書き写させる。指でなぞり読みをして確認するなど、正しく書くことができるように指導する。
3分	11 [■] § * • Sounds and Letters アルファベットの小文字②	○ 文字の形の特徴に注意しながら動画を視聴し、小文字を読んだり書いたりさせる。
4分	12 振り返りを行う。・振り返りシートを書く。・指導者のコメントを聞き、次時への見通しや意欲をもつ。	○振り返りの観点を示す。○各自が成長や課題について考えられるようにする。



第6時

目標

相手のことをよく知るために道案内を聞いたり、互いのことをよく知るために、マイタウンのお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。

- ①指導者用・学習者用デジタル教科書 💋 ② 🧻 Word Book
- ③ ワークシート (マイタウン・マップ) (4) 徐カード (施設・建物) ⑤ 振り返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
1分	1 挨拶をする。	○ 全体に挨拶をし,体調を問うなどする。
2分	2 Chant ② "Where is the pizza shop?" を言う。	○ 道順の尋ね方や案内の仕方を想起させる。
6分	3 Let's Listen 4 音声から道順や美冬に関する情報を聞き取り、お気に入りの場所を選び、その場所を選んだ理由を書く。 ■ 3 Let's Listen 4	 ○ 活動の前に、登場人物が作ったマイタウンについて児童とやり取りするなどして、活動方法を十分に理解させるようにする。 ○ 「美冬のことをよく知るために」という目的や場面、状況を児童と共有する。 ○ 児童の実態に合わせて音声を途中で止めてもよい。
		■ 「聞くこと」 知 , 思 , № [行動観察, 記述分析, 振り返りシート, 後日パフォーマンステスト]
	スクリプト Mifuyu: Hi, I'm Mifuyu. Look at the map. This is my town. Where is my favorite place? (pause) Turn right. Go straight. Turn left at the corner. Go straight for one block. Turn right. Go straight. You can see it on your left. It's by the flower shop. I want to be a teacher. I like books very much. (1) (国) を (a) と判断する資料となる振り返りシート記述例	
	※相手をよく知るという目的に応じて、相手をよく知るための情報も落とさず聞き取っていることが伺える。 花屋さんのそばと言っていたし、道順を聞いたら図書館でした。それに、美冬さんは、先生になりたくて本が好きと言っていたから図書館だと思いました。 10	
		○「態度」に関する評価は、単元をまたいだ長期的な視点で見取
		る (評価規準・評価基準 p.18 参照)。
1分	4 本時のめあてを知る。 お互いのことをよく知るために、お気に入り の場所について、尋ねたり答えたりしよう。	○ 3 の活動から、本時のめあてにつなげる。 ○ 本時の言語活動の目的や場面、状況を児童とともに共有する。
10分	5 前時と違う指導者(ALT や他の学級担任など) のお気に入りの場所についての話を聞き、活動の 方法を知る。	○ 指導者がモデルを示して活動の方法を理解させる。 ○ 互いのことを知るという目的を意識させる。
	進め方の例(指導者のマイタウンを提示して) T: This is my town. We have a station, a bi park, a music hall (主な施設などを紹介 C: (全員で) Where is your favorite place? T: Please guess my favorite place. C: Big Park? Station? T: OK. Let's go to my favorite place. You a here. (駅などスタート地点を決める) Are you ready? Go straight. Turn right a first corner. C: Go straight. Turn right	favorite place. What's the place? C: Wow! Park (the 抜け)! T: Yes. My favorite place is the park. C: Why? T: I like walking and running. I can see beautiful flowers there.

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
5分	6 お気に入りの場所の理由の言い方を考える。	○ 5の指導者の話や、Let's Try 4 を参考にするなどして、既習表現を想起させ、理由の言い方を考えさせる。
10分	7 1 Let's Try 4 (1回目) お互いのことをよく知るためにお気に入りの場所を尋ねたり答えたりする。 2 □ ・気をつけるポイントについて考え合う。 ・ペアでやり取りをする。 ・ペアや個人で練習を行う。	 ○ 各自のマイタウンマップで活動を行う。 ○ 互いのことを知るという目的に応じて、どのようなやり取りをすればよいかを共有する。 ○ 必要に応じて、タブレット端末などで、音声を確認したり練習したりできるようにする。 ○ 本時の目標達成に向けた中間指導を行う。
	中間指導の進め方の例 T: OK. Please stop talking. 自分のことをよく知ってもらったり、相手のでを知ったりするために、お気に入りの場所を行合えましたか。うまく伝えられたことや困ったとは何ですか。お気に入りの場所の道案内やそれかりやすく伝えていた人はいましたか。	云え T: Thank you for your sharing. たこ お気に入りの場所について,もっとうまく尋ねた
	学習改善のための指導の例 ○ 必要に応じて、意図的に難しいと思われる表現カードやチャンツなどを活用し、繰り返し練習さり、ペアで練習し合ったりさせる。(和の観点が) 相手によく知ってもらうという目的に応じて、る	させた 〇「何のために」ということを再度確認し、改善が必要 から) なことを意識づけ、自己調整を促す。(®の観点から)
6分	8	○1度目の中間指導を踏まえて、児童が自己調整を図ることができるように支援する。
	う。	■ 「話すこと [やり取り]」 知 , 思 [行動観察, 振り返りシート, 後日パフォーマンステスト]
	 知、	Go straight for two blocks. You can see it on your left. It's by the gym. (わかりやすく説明を加えている) C3: わかった! Supermarket? C4: That's right. My favorite place is the supermarket. C3: Why? C4: I like shopping. I can enjoy shopping. I can help my mother. (理由をくわしく伝えている)
	代表児童を2名指名し、ペアでやり取りを行わせる。	 ○目的に応じて、相手に進んで質問したり反応を返したり、相手の理解を確かめながらわかりやすく道案内をしたり、情報を加えてより詳しくお気に入りの理由を言ったりして伝え合っているかどうかを評価する。 ※ペアで互いのやり取りを撮影し、記録に残し、評価の資料とすることも考えられる(評価規準・評価基準 p. 18 参照)。 ○次時の最終活動に向けての意欲づけを図る。
4分	12 振り返りを行う。 ・振り返りシートを書く。 ・指導者のコメントを聞き,次時への見通しや意 欲をもつ。	○ 振り返りの観点を示す。○ 各自が成長や課題について考えられるようにする。



第7時

目標

相手のことをよく知るために、マイタウンのお気に入りの場所について、 道順やお気に入りの理由などを尋ねたり答えたりして伝え合うことがで きる。

準備物

①指導者用・学習者用デジタル教科書 💋 ② 🛍 Word Book

③ワークシート(マイタウン・マップ) (4) コマ (5) 振り返りシート

挨拶をする。	○ 全体に挨拶をし,体調を問うなどする。
[™] ~ Chant Where is the pizza shop?"を言う。	○ 道順の尋ね方や案内の仕方を想起させる。
本時のめあてを知る。 お互いのことをよく知るために、お気に入りの場所について、尋ねたり答えたりしよう。	○ 言語活動の目的や場面, 状況を, 再度児童とともに共有し, よりよい伝え方ができるように意識づけを図る。
◇ Activity 3 (1回目) [いのことをよく知るために、グループで ②気に入りの場所を尋ねたり答えたりする。 ② E 「をつけるポイントについて確認してから、 「ループでやり取りをし合う。 回目の活動を振り返る。	 ○ マイタウン・マップやコマを使って、グループでお気に入りの場所を伝え合うことを告げる。 ○ 目的や場面、状況を確認し、気をつけるポイントを再度共有する。 ○ 本時の目標に沿った中間指導を行い、目標達成に向けた指導を行う(前時の中間指導を参照)。タブレット端末を使用し、やり取りの様子を撮影し、指導に活用してもよい。
○文 Activity 3 (2回目) Dグループの友だちとお気に入りの場所にいて伝え合う。	 ◆の中間指導を踏まえて、児童が自己調整を図ることができるように支援する。 ○活動の途中で適宜中間指導を入れ、必要に応じた指導を行う。 ■「話すこと [やり取り]」 知、思、應 [行動観察、振り返りシート、後日パフォーマンステスト]
について (a) と判断した児童 C2 の例 下の会話の C2 は、前時の学習や本時の中間指 踏まえ、よりよい伝え方ができるように粘り強 り組んだり自己調整したりする姿が、発話や振 りシートから見られたため (a) の状況と判断した 前時2回目の発話> 1: Where is your favorite place? 2: Let's go. • 1: OK. 2: Go straight for two blocks. Turn right. • 1: Turn right? 2: Yes. Go straight. You can see it on you left. • 11: Zoo? 2: That's right. My favorite place is the zoo? 2: That's right. My favorite place is the zoo? 2: I like animals. •	C2: Let's go to my favorite place. (表現の追加) C3: OK. C2: Are you ready? (相手への配慮) C3: OK. Let's go! C2: Nice! (感想) Go straight for two blocks. Turn right. OK? (相手への配慮) C3: Turn right? C2: Yes. You are here. (確認) Go straight. You can see it on your left. It's by the school. (情報の追加) C3: Zoo? C2: That's right. My favorite place is the zoo.
	本時のめあてを知る。 お互いのことをよく知るために、お気に入りの場所について、尋ねたり答えたりしよう。 Activity 3 (1回目) いのことをよく知るために、グループでで気に入りの場所を尋ねたり答えたりする。 同目の活動を振り返る。 Activity 3 (2回目) のブループの友だちとお気に入りの場所にいて伝え合う。 CONT (a) と判断した児童 C2 の例での会話の C2 は、前時の学習や本時の中間指踏まえ、よりよい伝え方ができるように粘り強り組んだり自己調整したりする姿が、発話や振りシートから見られたため(a) の状況と判断した前時2回目の発話> 1: Where is your favorite place? 2: Let's go. 1: OK. 2: Go straight for two blocks. Turn right. 1: Turn right? 2: Yes. Go straight. You can see it on yoleft. 1: Zoo? 2: That's right. My favorite place is the zot.

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(■)
	 ☞ を(a)と判断する資料とした C2 の振り返りシート記述 ※自己調整を図っていることが伺える記述が見られる。 前の時間に聞いた友だちの発表の仕方がよかったので、参考にして、相手によくわかってもらえるように、工夫して道案内をしたり、お気に入りの場所の理由をくわしく言ったりできたと思います。 	
		○ 個に関する評価は、単元をまたいだ長期的な視点で見取る(評価規準、評価基準 p.18 参照)。○ 本時 2 回目の児童 C2 の波線部のように、複数形の s が抜けていることは評価の対象とはしないが、事後に指導し学習の改善を図る。
3分	6 Plet's Listen and Read 3 ・音声を聞く。 ・文を指で追いながら、文字を読む。	 ○6の活動を踏まえ、お気に入りの場所を再度声に出して言ってから取り組ませる。 ○音声を聞かせてから、教科書の文を言わせる。 ○十分に音声に慣れ親しませたうえで、文字を指で追わせながら読ませる。板書や掲示などで全体に示しながら文字を一緒に追って確認をしながら読むなど、丁寧に指導を行う。
5分	 7	 ○ お気に入りの場所については、 Word Book を参考に 丁寧に書き写させる。書き写した後、指でなぞり読みを して確認するなど正しく書くことができるように指導す る。
3分	8 Sounds and Letters アルファベットの小文字②	○ 文字の形の特徴に注意しながら動画を視聴し、小文字を 読んだり書いたりさせる。
4分	9 振り返りを行う。 ・振り返りシートを書く。 ・指導者のコメントを聞き、次時への見通し	○ 振り返りの観点を示す。 ○ 各自が成長や課題について考えられるようにする。

や意欲をもつ。



第8時

目標

日本や外国の施設や建物について, 話の概要を捉えたり読んだりする。 また, 活字体の小文字を書く。

- ① 指導者用・学習者用デジタル教科書 🏂 ② ワークシート (マイタウン・マップ) 📑
- ③振り返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(■)
1分	1 挨拶をする。	○ 全体に挨拶をし,体調を問うなどする。
4分	2 前時までの活動の振り返りをする。	 ○ 第7時までの活動を、児童のマイタウン・マップや振り返りシートを紹介するなどして振り返る。 ○ 自分たちの住む地域以外に、外国にある施設や建物にはどんなものがあるか、児童とのやり取りを通して徐々に興味や関心を抱かせる。
1分	3 本時のめあてを知る。 日本や外国の施設や建物について知ろう。	○ 2を踏まえて、本時のめあてにつなげる。
3分	4 [□] ∮ Song ❷ "On, In, Under, By" Song を歌う。	○ ジェスチャーをつけるなどして,楽しく表現の復習をさ せる。
10分	5 Around the World 動画を視聴し、話の概要を理解する。	 ○ シンガポール,スロベニア,メキシコの動画を1本ずつ 視聴させる。1度目は最後まで音声を聞かせ、その後、 児童の実態に合わせて、途中で止めたり再度聞かせたり する。 ○ それぞれの動画で、建物やものの位置を表す語(on, in, under, by) に焦点を当て、それらがどのように使われて いたか、やり取りを行う。 ○ 世界の様々な施設や建物がどのような場所にあるかなど について、興味・関心が高まるようにする。
	進め方の例(シンガポール) T: どんな英語が聞こえましたか。どんなことを言っていましたか。(ペアで話し合わせる) What's in Singapore? C:マーライオン。 T: That's right. Where is the Merlion? C:海! T: Is the Merlion in the sea? C: By the sea. T: OK. "It's" から始めて言ってみてください。 C: It's by the sea.	
10分	6 ◆ Story Time ・イラストや写真をたよりに Story Time を 読み,意味がわかるところを共有し,どの ような内容かを予想する。 ・全体の音声を聞き、わかったことを共有する。 ・一文ずつ音声を聞きながら文を指で追う。	○本単元や既習の学習を生かし、読む活動に取り組ませる。○児童の実態に応じて、登場人物に自分の好きな場所を教えるとしたら何と言うかなどについて、指導者や友だちとやり取りをさせてもよい。

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(■)
8分	 7 ▶ Letter Box ・アルファベットの小文字についての動画を 視聴する。 ・文字の形の特徴を確かめながらなぞる。 	 ○ 第 1, 3, 5, 7 時の Sounds and Letters の復習を行う。 動画を順不同で視聴し、提示された小文字がどのような 特徴をもっているか確認してもよい。 ○ 動画で確認したことを注意して、丁寧に文字をなぞらせ る。
4分	8 振り返りを行う。・単元の学習を振り返り、振り返りシートに書く。・指導者のコメントを聞き、次の単元への見通しと意欲をもつ。	○振り返りの観点を示す。○単元を通して、できるようになったこと、新しく気付いたり知ったりしたこと、工夫をしたり頑張ったりしたこと、課題に感じたことなどについて振り返らせる。
4分	9 CAN-DO チェック 頑張ったことやできるようになったことなどを 記録に残す。	○ 単元の学習を振り返らせるだけではなく、Lesson 4 までの学びの履歴にも留意させ、Lesson 6 に向けて目的意識や学習意欲を高められるよう指導する。